



スターゼン レポート

2014年3月期(第75期) 2013年4月1日～2014年3月31日

証券コード:8043

国内外での対応力を強化。 バイタリティある企業グループへ 着実に前進します。



代表取締役社長 **中津濱 健**

株主の皆様には、日頃より格別のご支援ならびにご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期(2014年3月期)の日本経済は緩やかな回復傾向が続くなか、出荷頭数の減少や猛暑による成育不良、急激な円安などの影響から国産・輸入食肉とも市況は高値で推移しました。

このような状況のなか当社グループは、国内では生産加工拠点の増強、商品群の拡充などに取り組み営業基盤を強化する一方、アジア地域での事業推進のため現地販社を設立するなどグローバル対応力を強化しました。また食品への異物混入事件や食品誤表示の問題から食の安全・安心への関心が高まるなか、国際規格「SQF」の導入推進に加え、コンプライアンス教育を徹底することで、事業所における安全衛生・品質管理体制の確保、向上に努めました。

業績につきましては、主力の食肉部門では取扱量減少、売上

高微増に対して加工食品・ハムソーセージ部門は取扱量、売上高とも増大しました。この結果、当期の連結業績は売上高2,565億81百万円(前期比1.0%増)、営業利益19億69百万円(同7.6%増)、経常利益26億41百万円(同22.4%増)、当期純利益は17億48百万円(同103.0%増)となりました。

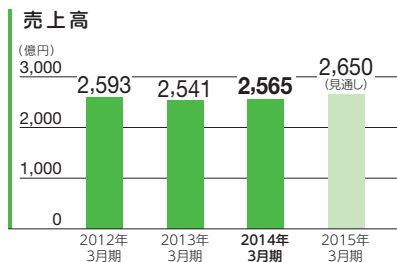
次期も著しく変化するマーケットに対応するため、当社グループは西日本での拡販などを目的とした林兼産業との業務提携をはじめ、国内営業基盤を強化して安定的な収益を確保するとともに、調達機能の強化、海外での事業開発、食肉輸出事業の推進などの施策を進めてまいります。さらに新たなパートナー企業との連携を進め、ボーダレスな事業展開を推進して国内外での業績進展に繋げてまいります。

今後とも株主の皆様の変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

決算のご報告 (2014年3月期決算のポイント)

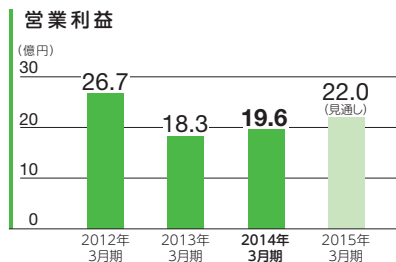
売上高

出荷頭数の減少、円安などの影響で取扱量は減少しましたが、商品の拡売に取り組んだ結果、売上高は増加し、2,565億81百万円(前期比1.0%増)となりました。



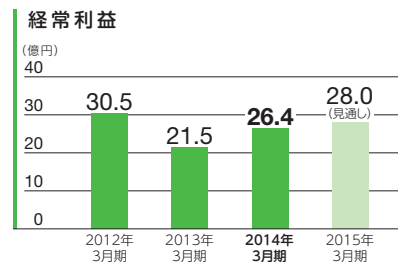
営業利益・経常利益

売上高増加の影響により、営業利益は19億69百万円(前期比7.6%増)、経常利益は26億41百万円(同22.4%増)となりました。

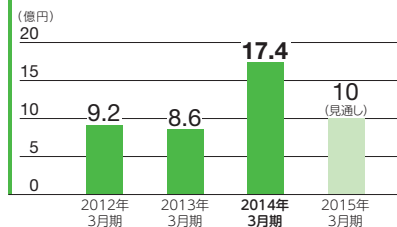


当期純利益

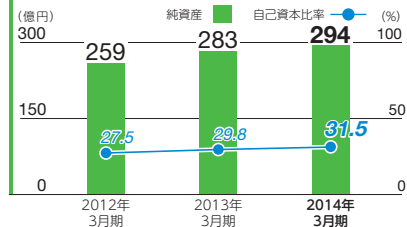
当期純利益は17億48百万円(前期比103.0%増)と大幅に増加しました。



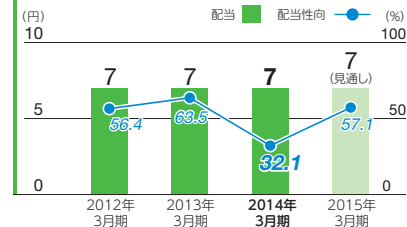
当期純利益



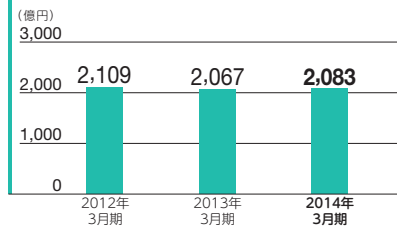
純資産・自己資本比率



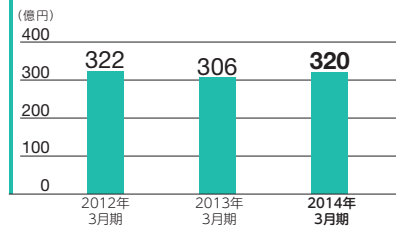
配当・配当性向



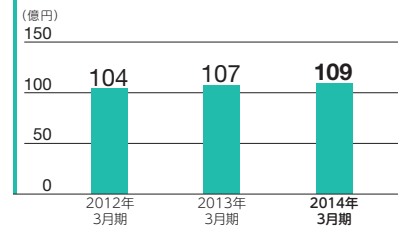
食肉 売上高



加工食品 売上高



ハム・ソーセージ 売上高



Action 1 生産・加工能力、販売・物流機能の強化

3つの加工拠点を新設・更新。東京部分肉センター(株)を完全子会社化

当社グループは、顧客対応力を高め、さらなるシェアの拡大を図るために、生産・加工から物流・販売に至る営業基盤の強化を進めています。

「生産・加工能力の強化」では、関西圏の小売チェーン店への対応を強化するため、2013年7月、ローストビーフなどのスライスパック商品の加工拠点として関西プロセスセンター(兵庫県伊丹市)を開設しました。また、豚肉の加工処理能力

の増強のために、加世田工場(鹿児島県南さつま市)を増築し、三沢工場・三戸工場を統合し青森工場(青森県三沢市および三戸町)を新設するなど、需要増大に迅速に対応できる生産基盤を構築しました。これにより、1日あたりの処理能力は、加世田工場が1,000頭、2014年5月から本格稼働を始めた青森工場(三沢)は、荷物を自動で入出庫できる「自動倉庫システム」を導入し、2,300頭と日本最大級になりました。



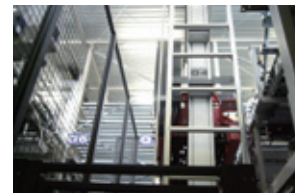
増改築した加世田工場
(2013年4月12日竣工)



関西プロセスセンター
(2013年7月3日竣工)



三沢・三戸工場を統合し
新設した青森工場
(2014年3月31日竣工)



「販売・物流機能の強化」では、2014年3月、関連会社東京部分肉センター株式会社を当社の完全子会社としました。東京都港区に冷蔵・冷凍倉庫を有する同社の子会社化により、将来予想される首都圏の人口増加や、2020年の東京オリンピック開催に向けてのマーケット拡大と活性化に対応できる営業拠点、物流拠点とし、グループ全体の業務効率を高めていきます。

東京部分肉センター株式会社
(東京都港区)



Action 2 海外事業の強化

食肉輸出事業を強化 東南アジアで新たな取り組みを開始

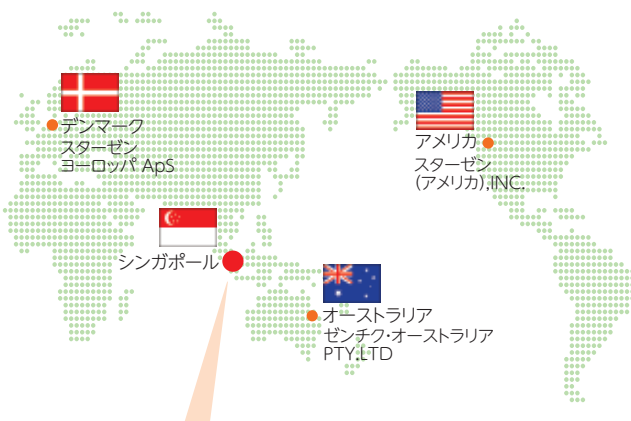
世界人口の増加や経済成長を背景に、世界的に食肉需要が増大するなかで、当社グループは食肉の安定確保のため海外からの食肉調達を強化しています。その一方、新興国や北米などに向けて、国産食肉・加工食品の輸出事業※を積極的に推進しています。

とくに需要伸張が著しい東南アジア市場においては、2013年10月、現地法人「スターゼンシンガポールPte. Ltd.」を設立し、販売を本格化しました。

※当社が厚生労働省認可の「輸出認定施設」を有することで可能な事業。

現在はアメリカ、カナダ、香港、マカオ、シンガポール、タイ、フィリピン、UAEの8カ国・地域に国産食肉を輸出しています。

スターゼングループの海外ネットワーク



2013年10月
スターゼンシンガポールPte. Ltd.を設立

Action 3 食の安全・安心への基盤強化

国際規格「SQF」認証を新たに3拠点で取得

安全・安心で高品質な商品の提供は、当社グループ最大の使命です。そのためグループすべての施設において、安全管理と品質確保を目的として国際規格「SQF」*の認証取得を推進しています。当期はキング食品、青木食品、関東プロセスセンター昭島(スターゼン広域販売)の3事業所が新たに認証取得し、この結果、当社グループ施設の94%まで認証取得を拡大しました。

SQFプログラムに従い、従業員は日々の記録を検証しながら取り組み向上を図っています。今後とも当社グループは安全・安心に向けた活動を積極的に推進していきます。

※SQF(Safe Quality Food):食品の安全性を管理するHACCPと品質管理システムISO9001を取り入れた国際規格。安全管理に加え、おいしさや食感、形状などの品質管理も対象となる。



SQF認証マーク
(上記はキング食品のもの)



SQFプラクティショナー資格を
有する社員が各拠点の改善施策を
共有するミーティングの様子

新規認証取得事業所
(2014年3月期)

- キング食品
- 青木食品
- スターゼン広域販売
関東プロセスセンター昭島

認証取得事業所数
(2014年3月末現在)

53 拠点

対象となる全拠点のうち94%

Action 4 提携による事業拡大

林兼産業(株)と業務提携。西日本での販売を強化

当社は西日本における販売拡大を一つの目的として、2014年4月16日、林兼産業株式会社と業務提携を結びました。同社は山口県下関市に本社を置き、ハム・ソーセージ・ハンバーグなどの製造、「黒豚」「赤鶏」などの生産と販売を展開する食品メーカーです。

現在、当社のハム・ソーセージ・ハンバーグは栃木・千葉の工場で製造し、製造の拡大と九州・関西の物流効率化を進める中、立地・技術・製造の委託、食肉の販売など、双方の事業補完、相互利用が可能と判断し、業務提携しました。



業務提携調印式

林兼産業(株) 設立:1941年1月15日 本社:山口県下関市大和町二丁目4番8号
企業データ 代表者:代表取締役社長 熊山忠和

会社概要／株式の状況

会社概要

設 立	1948年6月17日
本 社	〒108-0075 東京都港区港南二丁目5番7号 港南ビル
資本金	98億9,975万円
主な事業内容	1.食肉の加工および販売 2.畜産物の生産、加工および売買 3.食肉および畜産物の輸出入 4.食品の製造、加工および売買
主な販売先	スーパーマーケット、食肉専門店、百貨店、 外食産業、コンビニエンスストア、生協、 食品加工メーカー、食肉卸売業、その他
従業員数	2,258名(2014年3月31日現在)

役員 (2014年3月31日現在)

代表取締役会長	鷗 橋 誠 一	執行役員	林 育 司
代表取締役社長	中津濱 健	執行役員	渡 辺 郁 洋
常務取締役	永 野 章	執行役員	定 信 隆 壮
常務取締役	中 井 俊 夫	執行役員	矢 野 勉
取締役	寺 師 孝 一	執行役員	横 田 和 彦
取締役(社外)	鈴 木 宏		
取締役(社外)	太 田 泰 介		
取締役(社外)	善 宝 俊 文		
常勤監査役	片 山 学		
常勤監査役(社外)	北 條 秀 樹		
監査役(社外)	杉 島 光 一		
監査役(社外)	吉 原 大 吉		

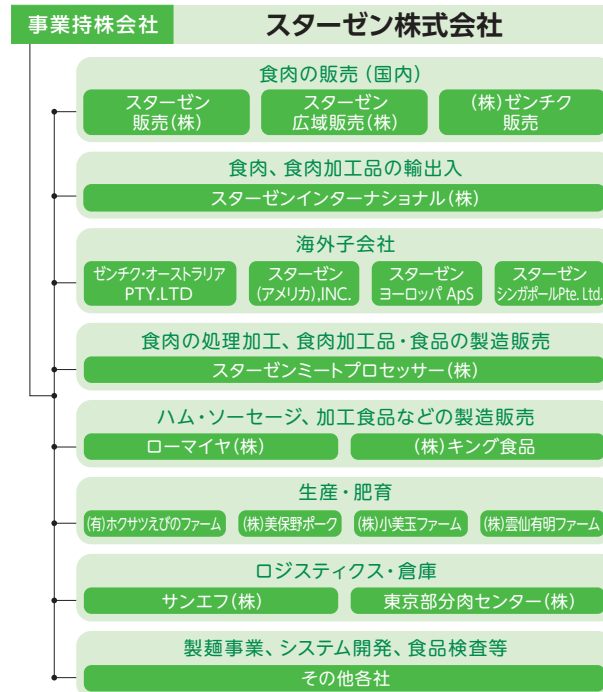
株式の状況 (2014年3月31日現在)

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	87,759,216株
株 主 数	19,489名

大株主の状況 (2014年3月31日現在)

名 称	所有株式数(千株)	割合(%)
株式会社三井住友銀行	3,249	3.70
農林中央金庫	3,044	3.46
クレディスイスルクセンブルグエスエー オンビハーフオブクライアンツ	2,950	3.36
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,799	3.18
スターゼン社員持株会	2,505	2.85
株式会社鶴橋興産	2,349	2.67
クリアストリーム バンキング エス エー	2,250	2.56
三井物産株式会社	2,216	2.52
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託EIO)	1,641	1.86
株式会社みずほ銀行	1,603	1.82

組織図



株主優待のご案内

日頃からご支援いただいている株主の皆様へ感謝の気持ちを込めまして、株主優待を所有株式数に応じ次の通り進呈いたします。

1 自社グループ製品(3月のみ)

1,000株以上: 3,000円相当



ハム類詰合せ

5,000株以上: 5,000円相当



ハム類詰合せ

10,000株以上: 8,000円相当



国産和牛ステーキ肉

2 1,000株以上: 歳暮ギフト(9月)、中元ギフト(3月)を通常販売価格の20%割引(送料無料で)にてご案内

3 1,000株以上: 「ローマイヤおせち」の割引販売(数量限定)20%割引(送料無料で、9月のみ)にてご案内

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬
公告方法	電子公告 (http://www.starzen.co.jp/ir/koukoku) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

スターゼングループの商品はインターネットでご購入いただけます。

- 楽天市場
<http://www.rakuten.co.jp/starzen-k/>
- ぐるなび 食市場
<http://shop.gnavi.co.jp/starzen/>
- ローマイヤ 通販ショップ
<http://www.lohmeyer-shop.com/>

ローマイヤ
通販ショップ



当社ホームページのご案内

当社の各種IR資料をご覧いただけるほか、オリジナルのコンテンツを豊富にそろえています。ぜひ当社ホームページをご活用ください。



<http://www.starzen.co.jp>



トップページ

IR情報ページ

スターゼン株式会社

〒108-0075 東京都港区港南二丁目5番7号 港南ビル
電話: 03-3471-5521

